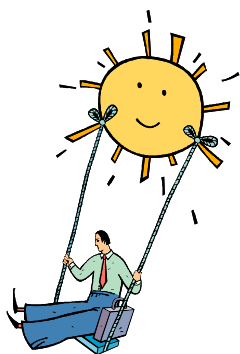


社 報



安全個人表彰

5月29日に鴻池組の安全大会が開かれました。安全大会と言えば、表彰式ですが、当日は当社より、近藤工事部の奥山職長が施工の優秀さと安全成績を評価していただき、個人表彰を授章いたしました。近藤部の皆さんには、奥山職長を中心に、当社の評価を高めていただき、ありがとうございます。今後も、さらに腕を磨いて「良い仕事」をお願いします。

6月は安全準備月間です

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

玉掛け作業を見直そう！

5月の某日に、ある現場で死亡災害が発生いたしました。当社もその工事には参画しておりますので、同じ現場で働く仲間が不幸にも事故で命を失ったわけです。誠に残念であり、心よりお悔やみを申し上げます。さて事故の内容ですが、ここで詳しくは述べるわけにいきませんが、報告によりますと玉掛けに問題があったと聞

きます。災害は不幸ですが、不幸にも起こったことは、我々の教訓として、二度と同じような事故を発生させてはいけません。当社でも、過去にポストの揚重中にポストの内管が抜けて落下し、あわや重大災害という事故もありました。指差呼称を確実に行って、安全確認を行ってください。

熱中症を防止しよう

また暑い夏がやってきます。ここ数年は、地球温暖化や都市部のヒートアイランド現象などで、非常に暑い夏になっており、熱中症も年を追うごとに増えています。

昨年には、あわや死亡災害か・・・、という重症事例も当社内で発生しています。今年も当然に暑い夏が予想されますので、熱中症を良く知って、予防を行ってください。

1 体調管理

夏の夜は寝苦しく、睡眠不足になりがちです。また、お祭りなども多く、お酒を飲みすぎたり、夜更かししたりと、体調を崩しやすいシーズンです。明日は熱中症との戦いが待っていると認識して、体調管理を万全に！

2 慣れも必要

人間の体は環境に順応するようにはできていますが、それにも時間が必要です。休み明けなど、体が慣れていないところに、重労働を酷暑の中で行うとより熱中症にかかりやすくなります。特に、夏場からこの仕事に就く人は十分に注意すべきです。

3 適度な休憩

本当は酷暑の中での仕事はしない方が良いと言われてますが、仕事は生活の糧ですから、休むわけにはい

きません。ですから、普通なら午前と午後1回ずつの休憩も、頻度を多く取る必要があります。1時間につき10分ずつ休憩をとるとか休憩の取り方も工夫して熱中症を予防しましょう。

4 強制水分摂取

熱中症の予防として効果的であると言われていています。熱中症は、暑さで体の水分が失われて、脱水症状を起こすことにより発症します。ですから、水分が失われる前に水分を補給することは有効です。喉が渇くということは、すでに体が水分を欲しているサインですから、実際にはその前に水分を取ることが望ましい訳です。15分ごとに強制的に水分をとるなどして、脱水症状を防ぎましょう。

が、しかし！

もし仕事中、体に違和感を覚えたらすぐに病院で治療を受けてください。しんどくなって休憩していても、脱水症状は進行します。手遅れになって病院へ運んでも意味がありません。気分が悪くなったら、すぐ病院！気分が悪い人を見たら、すぐ連絡！なかなか自分から言いにくいこともあるでしょう。職場のみんながお互いに気をつけて守りあいましょう。

2008年 安全成績

現場災害 H20.1.1-H20.6.10	
休業災害	----- 1
不休災害	----- 0
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 1
交通災害 H20.1.1-H20.6.10	
人身災害	----- 0
物損災害	----- 0
合計	----- 0